



報道関係各位

2020年5月1日

**** ホームページでも確認できます ****

地理的表示 (GI) 保護制度登録「連島ごぼう」
今年もいよいよ出番！！

- 初出荷日：2020年4月24日（金）
- 出荷場所：連島集出荷場
- 生産団体：東部出荷組合（JA晴れの国岡山倉敷アグリセンター管轄／TEL：086-444-0447）

今年もいよいよJA晴れの国岡山特産「連島ごぼう」の出荷が4月24日始まり、「新旬ごぼう」の出荷が終わる翌年3月初旬までの長丁場が続きます。

同ごぼうは、2016年12月には、「地理的表示 (GI) 保護制度」に県内で初めて認定され、翌年には日本航空の国内線ファーストクラスの機内食（夕食）に採用された実績を持ち、県を代表する特産です。

■出荷概要

- ・初出荷…2020年4月24日（金）／東部出荷組合8人が280ケース（1,400kg）
- ・仕向市場…岡山・倉敷・松山・岩国市場 ・秋播きの最盛期…6月

■生育状況

収穫を迎えたのは、秋播きしたゴボウ。10月中旬に播種し、4月下旬から7月初旬まで収穫。今季の生育は、4月に入ってからの冷え込みや強風による影響が懸念されましたが、太さも長さも例年通り順調に進んでいます。収穫は、「より抜き」。生産者が経験値を生かし、太さや長さを予測しながら、手で一本ずつ抜いていきます。最盛期には1日2,000本を手際よく抜いていく様は圧巻です。

■「連島ごぼう」の概要

県西部に流れる高梁川支流跡地の砂地を利用し、約70年前に栽培が始まった西日本有数の産地。ミネラル豊富な土壌で育ったゴボウは、肌が白く、肉質が柔らかく、あくが少ないのが特徴。秋播き以外にも、7月中旬から12月末まで収穫する春播き、12月下旬から3月初旬まで収穫する「新旬ごぼう」を栽培し、ほぼ年間を通じて、消費者に「連島ごぼう」を届けます。

■生産状況、出荷実績など

生産組合名：東部出荷組合 / 組合長名：石原 祥男
出荷戸数：26戸 / 栽培面積：14ha / 出荷量：年間500t
仕向市場：岡山、松山、大阪市場など全国12市場



【発信元】

JA 晴れの国岡山 総務部総務企画課
広報担当 別所 和実
〒713-8113 岡山県倉敷市玉島八島 1510-1
TEL：086-476-8092 FAX：086-476-8093

【問い合わせ先】

JA 晴れの国岡山 倉敷アグリセンター
担当 渡辺 直樹・富田 章弘
〒712-8001 岡山県倉敷市連島町西之浦 512
TEL：086-444-0447 FAX：086-444-0481